

# 兵庫 2030 年の展望（仮称）を考えるために

社会が大きく変容する 2030 年に向け、希望ある道筋を示すために、兵庫のゆたかな社会のあり方と進むべき方向を県民とともに考え、県政の新たなステージを示す

## 【Ⅰ 2030 年までの潮流と課題】

### 1 人口減少の加速と少子高齢化の進行

- 人口減少と地域偏在加速（若者の県外流出、地域コミュニティの疲弊・衰退、就業者の減少・都市部への集中）
- 現在の定義(15～64 歳)における生産年齢人口の減少と比率低下（熟練工不足等による供給力低下）
- 少子化（出生数の減少、教育環境の変化(2020 年大学入試改革、アクティブラーニング等学習システム改革)）
- 超高齢化（75 歳以上高齢者数ピーク、認知症患者・要介護認定者増加、介護施設・在宅ケア・医療体制不足）
- 長寿化（健康づくりの重要性、定年後の生活の長期化）
- 高齢者のみ世帯・単身世帯の増加（家族介護の限界）

### 2 地域構造の変容

- 中心市街地の空洞化、ニュータウンのオールタウン化
- サービス業空白地域の拡大
- 集落機能を失いつつ人が残るエリア（担い手がなくなる中での空間・景観管理）
- 世帯数の減少（空き家、低・未利用地等遊休資産の増加）
- 公共交通利用者減少、クルマ移動困難者増加

### 3 技術革新の社会への浸透と産業構造の転換

- IoT によるあらゆる事象・情報のデータ化（ビッグデータのリアルタイムでの収集・分析・利活用）
- AI(人工知能)による高度な識別・予測・判断（AI による職業代替、自動運転技術の汎用化）
- ヒト・モノ・カネ・情報の流動拡大（ICT の活用による時間と場所を超えたネットワークの形成）
- 製造業の競争力低下、サービス産業の伸び悩み(情報通信業等)
- 起業・イノベーションの低迷
- シェアリングエコノミーの拡大と所有されるモノの減少、個人間の直接取引の増加
- 農林水産業における技術革新への対応

### 4 グローバル化

- 世界に進出する若者・中小企業の増加
- 留学生や日本で就職する外国人の増加
- インバウンドの増大（2030 年全国で 6000 万人目標）
- アジア・アフリカ等新興国の成長（国内市場の縮小）

### 5 インフラ整備・活用

- リニア中央新幹線の東京―名古屋間開通、関西 3 空港の一体運用
- 基幹道路ネットワークの充実（大阪湾岸道路西伸部、北近畿豊岡自動車道、山陰近畿自動車道、播磨臨海地域道路等の整備が進展）
- インフラの老朽化

### 6 環境、災害リスクの高まり

- 地球温暖化の進行（都市のヒートアイランド化、異常気象、鳥獣害の深刻化）
- 食料・水・エネルギーの制約（脱炭素に向けたエネルギーの切り替え）
- 地震活動期に入った日本列島（南海トラフ地震・首都直下地震発生の懸念）
- 頻発・激甚化する大規模風水害と土砂災害
- 地域のつながりの弱まりによる災害等への脆弱性

## 【Ⅱ 展望策定に向けた検討事項(例)】

### 1 ひと・暮らしをめぐる論点

- (1)健康長寿社会 ○必要とする人に必要とされる医療・介護サービスを提供するには？  
○元気高齢者が増え、活躍するには？
- (2)子育て社会 ○子育て家庭の負担を軽減するには？  
○男女がともに出産・子育てを担うには？
- (3)人材育成 ○人生 100 年に対応した再教育を可能にするには？  
○グローバル化に対応する高等教育とは？
- (4)多文化共生 ○外国人材等呼び込み共生し、その力を活かすには？

### 2 まち・地域をめぐる論点

- (1)都市機能 ○都市機能を維持・充実させるには？  
○オールドニュータウンの生活を守るには？
- (2)担い手・空間 ○地域運営の担い手を今後も確保するには？  
○戦略的・選択的土地利用と都市・集落構造の見直しは？
- (3)ネットワーク機能 ○維持可能な公共交通の姿は？  
○交通弱者に対応可能なインフラは？
- (4)交流・対流 ○U J I ターン先として選ばれるには？  
○県内地域間、他府県、海外との対流を促進するには？

### 3 産業・しごとをめぐる論点

- (1)成長産業 ○変化する世界の産業構造のどこに食い込み、どう稼ぐのか？  
○イノベーションを創発するには？
- (2)地域産業 ○地場産業の高度化、市場拡大を進めるには？  
○ニューツーリズムを呼び込むには？
- (3)農林水産業 ○国際競争力を持つ農林水産業の経営とは？  
○農林水産物の地産地消を進めるには？
- (4)働き方 ○女性、高齢者、障害者の就業率を向上させるには？  
○第 4 次産業革命に対応した職業能力を養成するには？  
○若者を惹きつけるしごとをつくるには？

### 4 安全・安心をめぐる論点

- (1)脱炭素社会 ○スマートシティ等、新たな都市の住まい方は？  
○再生可能エネルギー・新エネルギーを拡大するには？
- (2)生物多様性 ○自然環境を保全・再生・創造するには？
- (3)防災・減災 ○防災・減災力の高い県土空間をつくるハード、ソフトとは？  
○経済社会が機能不全に陥らず、速やかに復興するには？
- (4)地域防犯 ○体感治安が良い地域社会の基盤とは？

**【Ⅲ 2030年にめざす兵庫のゆたかな姿】**  
○一人ひとりに合った居場所と役割    ○多様なチャレンジと拡がる可能性    ○世界と結ぶ多文化共生



**【Ⅳ 各分野の方向性】**

<p style="text-align: center;"><b>1 健康で成長するひと・暮らし</b> ～一人ひとりが自立し、支えあい、育つ～</p> <p>(1)健康長寿で、支え合う ○日常生活における健康づくりの実践 ○自立した生活の継続 ○必要とする人に必要な介護・医療サービスを地域で提供</p> <p>(2)成長を応援する ○社会が支え、男女がともに担う出産・子育て ○経済的・社会的に自立する若者 ○グローバルな思考を持つ若者の地域での活躍 ○生涯にわたるスキルアップ教育の機会と成長の持続</p> <p>重点戦略項目(例) ①健康 地域特性に応じた介護、医療、見守り ②教育 グローバル教育、社会人の学び</p>	<p style="text-align: center;"><b>2 活力が生まれ対流するまち・地域</b> ～持続し得る県土に転換し、ネットワーク化する～</p> <p>(1)持続する空間をつくる ○生活サービス機能の供給をはじめとした地域運営の担い手確保 ○共同体による空間管理や都市・集落構造の見直し等、選択的土地・インフラ利用 ○社会インフラの効率的な管理</p> <p>(2)人が行き交う ○五国の特性が発揮され、豊かな生活文化が県内外から人を呼び込み、対流が発生 ○生活・交流の基盤となる交通ネットワーク形成 ○世界各地とつながるヒトやモノ</p> <p>重点戦略項目(例) ①生活サービス機能 都市機能、遊休資産の活用整理 ②交通・ネットワーク 地域交通、第二住民(二地域居住)</p>	<p style="text-align: center;"><b>3 革新を生かしだれもが活躍する産業・しごと</b> ～世界で稼ぎ、兵庫で働く～</p> <p>(1)イノベーションで変革する ○ものづくりのポテンシャルに技術革新が合わさり、世界の産業構造に対応、転換 ○健康医療等、新たな先端産業の創出 ○様々な機会にビジネスチャンスを見出す起業 ○世界の食ニーズに対応する御食国</p> <p>(2)働きがいを生む ○AI・ロボットに代替されないニーズに対応する職業能力 ○年齢、性別、障害の有無、国籍に関わらず、持てる力を発揮する就労</p> <p>重点戦略項目(例) ①次世代産業 新産業創出、起業・新事業基盤 ②働き方 時間や空間に縛られない働き方</p>	<p style="text-align: center;"><b>4 高め引き継ぐ安全・安心</b> ～自然・環境と共生し、災害に備える～</p> <p>(1)脱炭素を実現する ○水素やバイオマスなど新エネルギー、地産地消エネルギーへの転換 ○環境負荷の低い暮らし方や産業の浸透 ○空き地等を活用した都市における新たな緑化空間の創出 ○多様な自然の再生・創造</p> <p>(2)防災・減災に経験と教訓を生かす ○避難体制と防災インフラのソフト・ハード両面による備え ○災害が起こってもできるだけ早く回復させる経済社会システムが機能 ○コミュニティの多様化に対応した防犯</p> <p>重点戦略項目(例) ①エネルギー 新エネルギー供給体制、スマート住宅 ②防災・減災 災害時体制確保、感染症対策</p>
---	---	--	---



**【Ⅴ 2030年の五国の多彩な舞台】**  
○摂津：競争力を持つ都市環境と生活文化    ○播磨：歴史に彩られた都市と田舎の共生  
○但馬：日本海生活スタイル    ○丹波：森に囲まれた都会に近い田舎    ○淡路：気軽に行ける御食国・環境島